



本日の
プログラム

北海道、その先は宇宙産業で切り拓く

SPACE COTAN(株) 代表取締役社長 小田切義憲 氏

京の老舗 (株)傳來工房 代表取締役会長 橋本和良 氏

日本は老舗大国であり、4万社以上の会社があります。毎年1000~2000社増加し、100年以上の会社は順に東京、大阪、愛知で、京都は4番目になります。老舗企業出現率で言いますと、全国平均2.54%の中、京都は4.73%でダントツトップです。老舗企業の定義は、社会情勢がどれだけ困難であろうともそれを乗り越え、経営を100年以上続けてきた企業であると考えます。

京都に老舗が多い理由ですが、794年以来1200年間、王朝がありました。天皇をはじめ多くの公家がいて、それ故、全国の一流の職人、商人、芸人、商品が京都に集まりました。京都は舞台でありました。そういったものを囲い込み、保護し、切磋琢磨させ次世代へとつなぐ土壌を作りました。全国の一流を集め、宮家の御用達などが存在しました。京都は、文化政治の中心であり、そこに住む人の美に対する感性、商品を見る目や食に対する意識が他の地域に比べて磨かれていきました。それ故、京都で生き残るには、絶対的品質、絶対的な信頼が必要でした。それらを兼ね備えたお店や企業が老舗として生き残りしました。

老舗企業の3つの共通点

- ①不易流行(不易を知らざれば基立ち難く、流行を知らざれば風新たならず)という言葉の通り、変わらないものを知らなければ基礎は成り立ちません。変わるものを知らなければ新しいことは出来ません。変わらないもの、変えてはいけないものは、屋号、社名、教え、家訓や社訓、ルール、のれんなど。会社の根幹を支えるものは、技術、組織、お客様、ブランドなどです。これらを変えないために、時代の変化に合わせて会社は製品を変え続け、伝統とは革新の連続であると考えます。
- ②多くはファミリー企業であり、後継者を自ら育てます。長男の場合が多く、自らの背中で働く姿を見せ後継者として鍛えます。男の子がいなくて、不出来であった場合は、優秀な娘婿を貰います。以前は優秀であれば、花街でできた子に継がす場合もありました。後継者として一番適した跡継ぎを選び、自ら鍛えました。

③売り手よし、買い手よし、世間もっとよし、三方よし。決して自分だけ良ければよい、自分の会社だけ良ければよいなどと考えませんでした。ロータリークラブの四つのテストに通じています。松下幸之助さんや稲盛和夫も同じようなことを遺しておられます。継



続・進化するための普遍的な考え方なのでしょう。弊社は大同元年(西暦806年)創業で、約1200年継続しています。京都では一番古い会社と言われています。弘法大師、遣唐使、青銅蠟型精密鑄造など、それらを受け継いだ職人集団がおります。全国の神社仏閣に装飾金物を納入しています。技術力を落とさないために一番弟子が傳來を継承しました。

京都は平安時代から、疫病、大地震、大火災に見舞われてきました。その都度知恵を使い乗り越えてきました。近世では、太平洋戦争中、折角作った製品を溶かして武器弾薬に、機械鑄物部品に進出しました。伝統仏教寺院や神社だけでは仕事は続きませんでした。近代建築の装飾金物にも進出しています。28年間社長を務めてきましたが、時代の変化に合わせて会社も製品も作り変えてきました。バブル崩壊のさなかに社長就任、建築装飾金物の仕事が無くなった時期もあります。大手建材メーカーのOEM進出、新築住宅建築にも進出しました。ガーデンエクステリア製品の自社ブランド(ディーズガーデン)を立ち上げ、フィリピンやタイに工場進出しています。新規事業の種、開発製品の試験受託、有料会社見学会など、改めて見直すと老舗の3つの共通点を具現化しているかと思えます。これからも時代の変化に合わせて、しなやかに変化していきたいと思えます。ご清聴ありがとうございました。

■本日のロータリーソング

奉仕の理想

2023-2024年度 国際ロータリーのテーマ

「世界に希望を生み出そう」

国際ロータリー会長: ゴードン R. マッキナリー

